



草加市議会議員

せき かずゆき

関 一 幸

号外
谷塚版



活動レポート

草加市議会6月定例会報告

平成22年6月3日（水）より6月21日（月）まで、草加市議会6月定例会が開催されました。今議会の内容は、「平成22年度草加市一般会計補正予算（第1号）」・「草加市市民福祉葬祭条例の制定について」・「姉妹都市の提携について」など、市長提出議案14件中、「町の区域を新たに画することについて」1件を継続審査とし、議員提出議案2件中1件、委員会提出議案2件を可決し、請願2件中、1件を採択しました。

また、6月14日（月）に市政に対する一般質問「地場産業の振興について」を行いました。当日行った質問項目から抜粋をし要約してご報告いたします。

草加市市民福祉葬祭条例の制定について

【目的】市民の福祉を増進するため、市民が葬儀を行うに当たり、その経費の負担が困難な市民に対し経費の一部を負担する市民福祉葬祭制度を創設する。

【内容】死亡した者及び葬儀を行うものが、市の住民基本台帳に記載されている場合または外国人登録原票に登録されている場合で、市が指定する葬儀社を利用し、かつ、市が定める基本仕様による葬儀を行うものを市民福祉葬とし、市民福祉葬による葬儀については、その経費の一部を市が負担する。

【施行】平成22年8月1日より

姉妹都市の提携について

昭和60年に友好交流宣言を交わした昭和村とは、両市村民が自然とのふれあいや地域の活性化を目指し心の交流を進めてきたが、さらに教育、文化、スポーツ、産業等の交流を進め、共に地域の発展を図るため、姉妹都市の提携をする。

	昭和村	草加市
人口	1591人	24万2846人
面積	209.34平方km	27.42平方km

人口は平成22年7月1日現在

【関 一幸 一般質問】

地場産業の振興について

- ア、草加ブランドとしての取り組みとPRについて
- イ、マスコットキャラクターについて
- ウ、小・中学校との連携について
- エ、後継者育成について

質問：①小・中学校で地場産業に関する授業を行うことで、ふるさと草加に対する思いが深くなることや将来の後継者が誕生する可能性も生まれる。現在の取り組み状況は。

答弁：①小学校の社会科の地域学習で、せんべい工場見学や皮革製品製作体験を実施している。今後も地場産業への意識を高めるため、地場産業関係者の公園や、体験活動の場を設けるなどして学校への啓発指導をしていきたい。

質問：②スカイツリー開業を控え、観光客が草加へ足を運ぶ工夫をしていくべきであり、草加市の地場産業の付加価値を明確にし、草加ブランドとしてPRしていく必要がある。草加市の地場産業振興についての考えは。

答弁：②せんべいに皮革や浴衣を組み合わせるにより、地域産業を振興するという直接的な側面だけでなく、草加市の情報を全世界に発信し、その価値を認めて頂き、多くの皆様に草加を訪れて頂くという形で活用していきたい。



関 一 幸 事務所

〒340-0023 埼玉県草加市谷塚町580
TEL: 923-1188 FAX: 927-8818
mail: seki@wan-happy.jp
http://www.wan-happy.jp

-地域の皆様のご意見・ご提言・ご要望をお寄せ下さい-
-草加市に住みたい、住み続けたいと思えるまちづくり-